



伝統産業・地域知識・地域環境復興人材育成

—2007年度—

「地域再生システム論」講座

今年度の地域再生システム論では、本学と隣接する諸地域において、大学の教育研究資源を活用した地域再生事業を展開する上での学際的な視点から、地域再生に関わる基礎的知識の習得を目的に実施した。



講義・グループワーク風景

「地域再生システム論」講座概要（9月～10月）

講義・グループディスカッション・演習を通じて地域再生計画案を作成する。

《 総論 》

- 地域再生システム論：地域における大学の役割
- 地域再生の各種支援策・事例の紹介
- 知識創造自治体の理論と実践
- 地域再生システム論：地域・現場からの政策決定へ

《 グループワークの中心課題 》

- 地域活性化ビジネスのあり方について
- 健康のための温泉利用と地域再生

《 各論：伝統工芸、文化、地域環境等をテーマとした地域振興事例のリレー講義 》

- 伝統工芸・有田焼の革新・ケース講義
- 能登半島地震被災地の門前地区地域再生事例—歴史と文化で再生を図る取り組み
- 佐渡におけるトキの里づくり—中山間地の持続可能性
- 地場産業イノベーション人材育成論—新潟県磨き屋シンジケートの事例

□主な講師陣 —政策のプロを招聘— ※敬称略

- 御園 慎一郎
(総務省大臣官房審議官 本学・客員教授)
- 館 逸志
(内閣府経済社会総合研究所 企画調整官 本学・客員教授)
- 木村 俊昭
(内閣府 構造改革特区担当室 地域再生事業推進室 企画官) 他

□受講者数 75名

- 自治体関係者・24名
- 地域企業関係者・23名
- NPOほか・15名
- 本学学生・13名

○6つのグループに別れてディスカッション・発表

- 各課題 ◇伝統工芸 ◇地域と環境 ◇地域と福祉・医療・温泉
◇地域再生人材育成 ◇野生動物との共存 ◇大学との連携に基づく地域の産業人材育成

文部科学省・平成19年度科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成プログラム」において採択された本学『石川伝統工芸イノベーション養成ユニット』とも連携し合い、本学が立地する石川県内の伝統産業活性化に向けた取り組みにも焦点を当てた。